

シェアライフ

SHARE

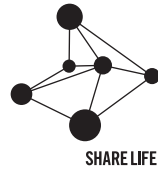
LIFE

新しい社会の新しい生き方

DIVE INTO A NEW LIFE OF SHARING ECONOMY

石山 アンジュ

ANJU ISHIYAMA



# はじめに

この本が出版されて間もなくして、「平成」が幕を閉じ、新しい元号の新しい時代が始まります。

私は平成元年に生まれ、平成とともに人生を歩んできました。振り返れば、いく度の自然災害、金融ショック、テロ、経済の低成長など、社会の根幹を揺るがす出来事がつづき、平成という時代を「失われた30年」と呼ぶ人もいます。

でも、本当にそうでしょうか。

これまで当たり前とされてきた社会の前提を失いつつある時代だからこそ、『私たちにとっての本当の幸せ』とは何か——？』を、新たに、再定義するときがきています。

そんな時代の節目に、ここ数年「シェア」という言葉をニュースなどで見聞きするものが多くなっています。たくさんさんのモノであふれる社会や生活の中から、「必要なだけあれば十分幸せだ」「家も、仕事も、子育ても、誰かとシェアすればいい」という価値観が生まれ、多くの人に支持されるようになりました。

同時に、「孤独死」などに始まる、かつてあった社会の支え合いが希薄化してしまつた時代に、シェアすることで「つながり」や「コミュニティ」をもう一度取り戻そうという動きも出てきています。

この「シェア」こそ、これからの時代を幸せに生きていくために、誰にとっても欠かせないキーワードになっていくはずですよ。

本書は、この「シェア」（共有）という概念によって、社会がどう変わっていくのかを考え、シェアすることで生まれる新しい生き方を提案していきます。

シェアリングエコノミー（共感型経済）とは何か、今なぜシェアが注目されているのか、その本質について触れ、シェアという新しい概念が、私たちが抱える社会課題や、

限界を迎えつつある社会にどのような変革をもたらすのかをお伝えし、そしてシェアによって変わる「新しい生き方」を提案します。

もし今、この本を手にとったみなさんが、仕事や子育て、老後の心配など、毎日の生活の中で何か一つでも悩みを抱えているとすれば、「すべてはシェアで解決することができる」と断言できます。そして「新しい豊かさ」を手に入れ、もつと自由に楽しく生きていくことができますはずですよ。

ただし、この本はシェアリングエコノミーによるビジネストレンドや新しいサービスを紹介するだけの本ではありません。

**本書を通じて最もお伝えたいのは、シェアという「思想」そのものなのです。**

それでは、本書の構成について簡単に説明します。

まず、序章では、現在の私自身のシェアライフと、なぜシェアを実践し始めたのか、それによってどのような変化が起きたかお話しします。

1章では、これから迎える新しい時代がどのようなものか、なぜ今の時代にシエアが重要なのか解説します。

2章では、シエアから生み出される「新しい豊かさ」について考えます。

3章では、シエアによる新しい生き方を提案します。住まい、仕事、子育て、家族、老後、教育まで、私たちの暮らしがどう変わっていくのか、実例とともに具体的にお伝えします。

4章では、これから社会が直面する課題をシエアが救ってくれる可能性について述べていきます。

5章では、シエアにおける最も重要な要素である「信頼」について考え、シエアライフを実践するために必要なマインドについてお伝えします。

終章では、シエアが普及したあとの未来について考えていきます。

シエアという思想は、私たちにどのような未来をもたらしてくれるのか——新しい時代が始まろうとする今、本書が「新しい豊かさ」を手に入れるための第一歩になることを願っています。

はじめに 002

序章

私のシェアライフ

60人家族、100の家 016

シェアする社会の登場 020

気づけば、私はずっと「家族」を探してきた 023

個人の意思よりも組織の理論が尊重される社会への違和感 025

シェアとは希望である 028

## 第1章

# 新しい時代

前提が失われた時代に生きる私たち 032

幸福のロールモデルが消えた

より人間が人間らしく生きるには 035

孤独の原因

個人中心の時代の到来 040

組織から個人へのパワーシフト／個人と個人がつながる分散社会へ

個人が主役の時代

「豊かさ」のパラダイムシフト 044

お金から信頼へ

私から、私たちへ 047

つながりに幸せを感じる時代

## 第2章

# 新しい価値観

「シェア」とは？ 054

昔からあったシェアという概念／今シェアリングエコノミーが注目されている理由  
個人と個人が生み出す新しい経済の形／組合型のシェア／シェア時代には「信頼」が鍵

見えない価値が価値になる 062

シェアが生み出す新しい価値／制約からの自由。所有しない幸せ

シェアの本質とは「つながり」 067

新たな豊かさとは「つながり」／つながり資産

シェアすることで誰でも「つながり」をつくれる／新たな人間関係、コミュニティ

コミュニティが居場所になる／働く場所も居場所になる



# 新しい生き方

シェアで「働き方」が変わる 080

「働く」概念が変わる／会社で働くことの「制約」から解放される／シェアワークな私の一日  
どこでも通用する評価と信頼が貯まっていく／副業解禁の追い風。一方で課題も

シェアで「住む・暮らし方」が変わる 090

人の自由の制約となるものは「場所」である／「世界中どこに行っても居場所がある」私の暮らし  
暮らしを起点につながらりやコミュニティができる／家を所有しない様々なライフスタイル  
日本の課題を解決する可能性

シェアで「旅」のスタイルが変わる 099

暮らすように旅する／ガイドブックの旅では得られないもの  
日本でも広がるシェアと観光のスタイル

シェアで「人生100年時代」に備える 104

お金以上に必要なこと／つながらりと生きがいを見つけられる選択肢  
「介護」もつとシェアで解決できる

## シエアで「家族・子育て」の概念が変わる 111

家族の変化と、子育てが窮屈になった日本／子どもはみんな育てるもの

子育てはシエアで解決／家族観を捉え直す

## シエアで「学び」が変わる 123

日本の教育は「肩書き偏重」／「互いに教え合い、学び合う」新たな学びの形

プラットフォームが学びのハードルを下げる／誰でも「教える側」になれる

## 第4章

# つながりが社会を救う

## 日本が直面する課題 132

公助・自助・共助…失われた共助機能と公助の限界／シエアで共助を再構築する

## シエアで地域課題を解決する 138

日本政府も重点施策として推進／佐賀県多久市「シエアで就業機会の創出」

長野県川上村「女性が暮らしやすい村へ」／相模原市藤野「まち全体で自分たちの安全圏をつくる暮らし方」

## 世界中で広がるシェアリングシティ 151

行政主導でシェアを政策として取り入れた韓国・ソウル

市民主導で持続可能な都市を推進するオランダ・アムステルダム

## 新たなセーフティネット 155

つながりで多くの問題は回避できる／協同組合の新たな形

防災や災害時こそシェアが機能する／オリンピックとシェア

## 第5章

# シェアするマインド

## シェアライフは「信頼」で成り立つ 168

信頼を得られる人はシェアライフで最も得をする／「信頼」とは何か？／「信頼」の概念は変化してきた

テクノロジと「信頼」の課題／人間にしかできない「信頼」を取り戻そう

信頼できる・信頼される自分になろう 180

自分と他人の境界線はどこに？／境界線を広げていく意志が必要／与えると、信頼が返ってくる  
閉じずに、開きつつける／小さな「お互いさま」を積み重ねる

## 終章

### シェアの未来

資本主義型と持続可能型 2つのシナリオ 190

ルールと社会制度の課題 197

### おわりに 202

シェアライフを今すぐ始めたい人へ 206